

AS シリーズ Media Processor : RTP/3GPP の ストリーミング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[作業の流れを流す 3GPP](#)

[ハードウェア \(5/7/8xxx シリーズ \) の上で引っ掛かること](#)

[IP アドレス](#)

[プリセット タブ](#)

[入カタブ-ビデオ](#)

[重要なカスタマイゼーション](#)

[良質 3GPP/RTP 出力のためのヒント](#)

[出力される RTP/3GP \(アナウンスされたストリーム \)](#)

[Akamai \(アナウンスされた TCP \) への 3GPP 出力](#)

[RTP/3GPP 出力設定 \(出力される未加工 RTP \)](#)

[SDP ファイル](#)

[SDP ファイルフォーマット 詳細](#)

[SDP ファイル パッチ-リリース 5.0.1 のみ](#)

[SDP ファイル パッチ \(5.0.1 リリースだけのために \)](#)

[レビュー](#)

[サーバを流すダーウィン/QuickTime](#)

[イベントを開始して下さい](#)

[出力 オプション- CDN への流出](#)

[複数のスピネーカーの接続](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco AS シリーズ メディア プロセッサ (以前のスピネーカー) RTP/3GPP 流出と
すぐに開始するのを助けるように情報を提供したものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

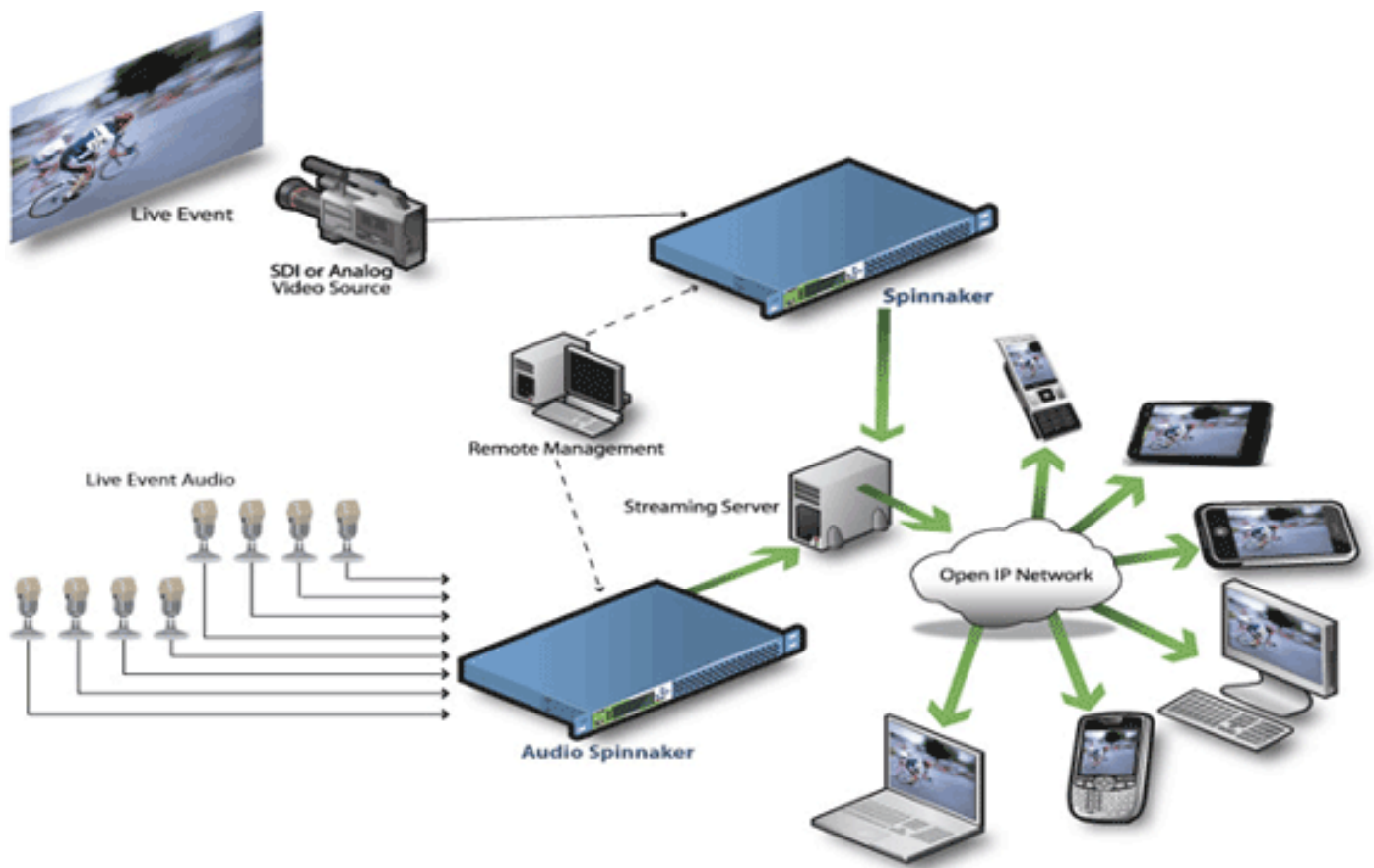
使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

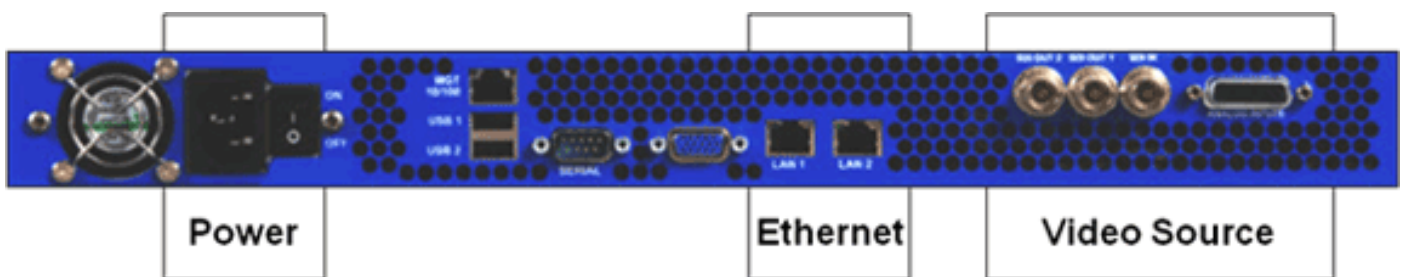
表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

作業の流れを流す 3GPP



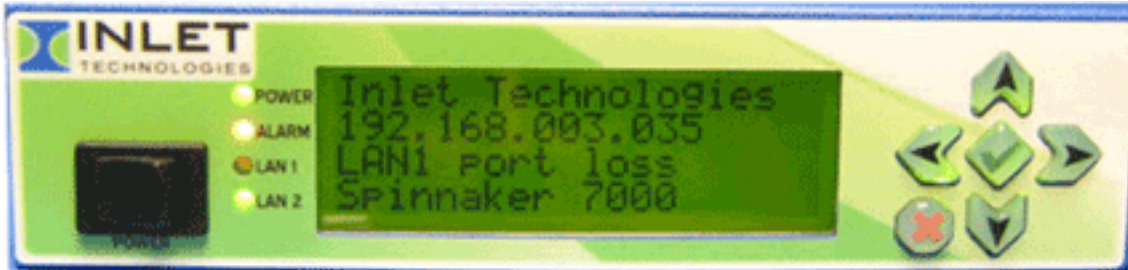
ハードウェア (5/7/8xxx シリーズ) の上で引っ掛かること



スピネーカー アプライアンス必要ちょうど 3 つの接続: 電源、イーサネットおよびビデオソース。

- ・パワー一度供給された電源コードは接続され、後部電源スイッチをつけ、次にスピネーカーの先頭のスイッチを押します。、押およびリリース前部スイッチシャットダウンし、およそ15秒を待つため。
- ・イーサネット—3つの利用可能なイーサネットポートがあります; によってほしい誰でも使用できます:LAN 1 および LAN 2 は GbE (10/100/1000 の) ポートです。Mgmt ポートは 10/100 です。

IP アドレス



スピネーカーは起動する場合、DHCP によって IP アドレスを受け取ります (もし可能であれば)。この IP アドレスはフロントパネルで表示する。

フロントパネルによってスピネーカーを設定できる間、最も容易な方式は Web ユーザーユーザー・インターフェースにアクセスするのにスピネーカーの IP アドレスを使用することです。

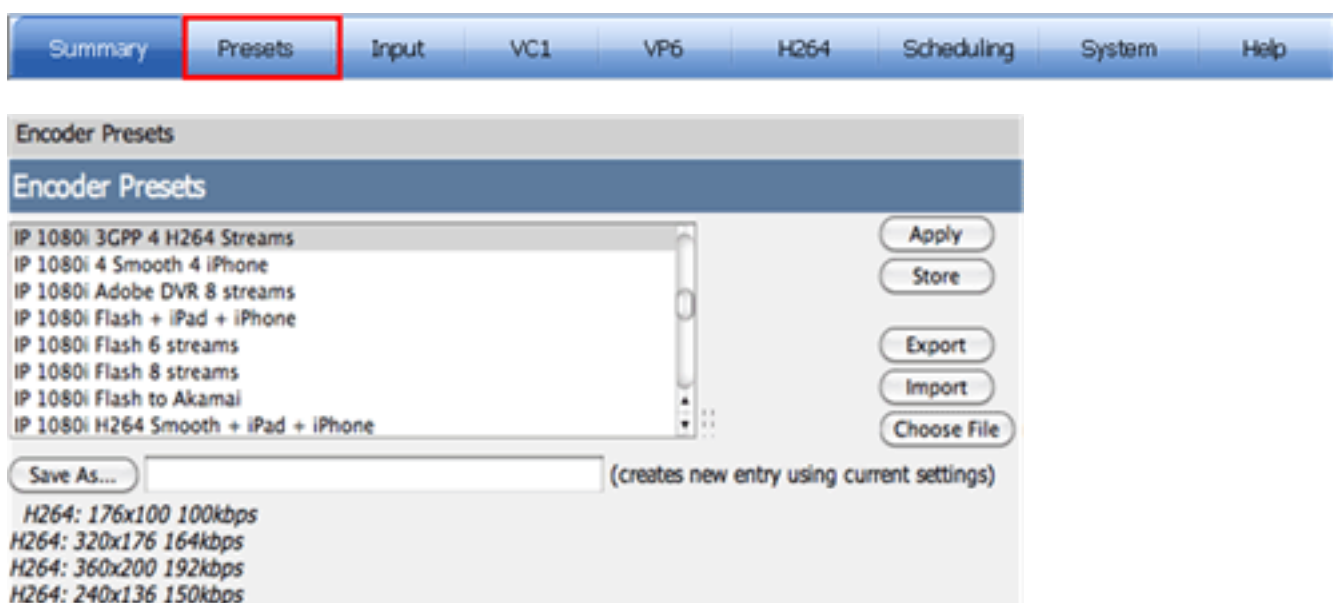
ネットワークによって接続される PC を使用し、にナビゲートして下さい:

[https:// <ip_address >/encadmin](https://<ip_address>/encadmin)

このスピネーカーに関しては、使用します: <https://192.168.3.35/encadmin>

スピネーカーを与えられるデフォルトユーザ名およびパスワードを使用するログオン。

プリセット タブ



1. 望ましい設定の近くに来るリストからプリセットするを選択して下さい。たとえば、IP

1080i 3GPP 4 H264 ストリームは HD 出典を利用する最近のプリセットするです。プリセットするのプレビューはスクリーンの一番下で表示する。

2. このアクティブをプリセットするために作るために『Apply』 をクリックして下さい。

入カタブ-ビデオ

Summary Presets **Input** VC1 VP6 H264 Scheduling System Help

Video | [Audio](#)

Video Input

Video Standard Detected: Analog: - - SDI: 1080 29.97i autotimed

Source: SDI

Format: 1920x1080

Frame Rate: 29.97

Scan Type: Interlaced

Field Order:
 Top Field First
 Bottom Field First

Pre-Encoding Preview: Start

- スピネーカーは自動的にビデオソース 形式を検出する。
- 設定を一致する 検出する 形式を確認して下さい。
- 入力設定を確認するために、『Apply』 をクリック することの後で、正しく『Start』 をクリック します 出典 ビデオのプレビュー用にであって下さい。

重要なカスタマイゼーション

多くのカスタマイズ可能な オプション、しかしプリセットする デフォルトの使用から開始できます。

Home Presets Input VC1 **H264** H263 Scheduling System Help

Video | Audio | MPM Output | TS Output | iPhone Output | Smooth Output | RTP/3GP Output

Encode Stream 1 (Streams 1-4 are enabled) [Apply] [Reload]

H.264 Encoding Parameters H.264 Encoding Enabled Enable Adaptive Streaming

Profile:

Level:

Bit Rate: kb/sec

Key Frame Interval: frames

Buffer Size: ms

Output Resolution:

Cropping: Left: Right: Top: Bottom:

Resizing (W x H): x

Resize Mode:

Resize Algorithm:

Output Frame Rate:

Pixel Aspect Ratio: Override to: :

Advanced Compression Settings

Number of B Frames: Max Quant:

Frame Reference Count: Min Quant:

Write Sequence End Code: Scene Change Detection:

Weighted Prediction: MB Adaptive Frame/Field:

Write AU Delimiters: ME SubPel Mode:

Number of Threads: ME Search Range:

Output Color Description: Entropy Encoding Mode:

Transfer Characteristics: Color Primaries:

Matrix Coefficients:

[Reset to defaults]

良質 3GPP/RTP 出力のためのヒント

- 44.1Khz に可聴周波サンプリング レートを設定して下さい。これは電話の最大推奨値です。
- 時々より低いビットレートは電話が受け取ったすべてのデータを処理するので等号また更に良質を提供します。パケットは高データレートが理由でもはや失われません。
- 小さいバッファサイズ => より速い始動時間。
- キーフレーム 間隔 => は出力フレーム レートのそれに倍数をします。

出力される RTP/3GP (アナウンスされたストリーム)

Home Presets Input VC1 **H264** H263 Scheduling System Help

Encode Stream 1 (Streams 1-4 are enabled) Apply

Streaming to RTP/3GP Server 1

Enable Streaming

Server IP Address:

RTSP Port:

Push Port: RTP Audio:
RTP Video:

Stream Name:

Enable Authentication

Username:

Password: Password will not be displayed

Streaming to RTP/3GP Server 2

Enable Streaming

Server IP Address:

RTSP Port:

Push Port: RTP Audio:
RTP Video:

Stream Name:

Enable Authentication

Username:

Password: Password will not be displayed

- 流出サーバの IP アドレスを入力して下さい。
- RTSP ポートを入力して下さい (554 は RTSP のために普通使用されます)。
- ストリーム名: 流出サーバで保存されるべき SDP ファイルの名前また Webサーバの RTSP URI の一部。
- 認証 : 流出サーバで有効に なられた場合必要。
- Server2 はバックアップ流出サーバに同時送達を可能にします。

[Akamai \(アナウンスされた TCP \) への 3GPP 出力](#)

Streaming to RTP/3GP Server 2

Enable Streaming

Server IP Address:

Push Port: RTSP Port:
RTP Audio:
RTP Video:

Stream Name:

Enable Authentication

Username:

Password: Password will not be displayed

- エントリポイントの IP アドレスを入力して下さい。
- RTSP ポートは 554 に設定 されます。
- ストリーム名: 12345 は Akamai によって提供されるリフレクタ ポートです。
- 作成される EdgeControl で流れる QuickTime のために認証パラメータを使用して下さい。注 : ほとんどのストリームは「a」タグ 形式のために Web ページによって、使用します次を動作 されます:

```
<a href="rtsp://ARL/">
```

閉じる「/」重要です。次に、例を示します。

```
<a href="rtsp://a0000.1111111111.c00000.g.lq.
```

```
akamaistream.net/D/1234/00000/v0001/reflector:12345/">
```

[RTP/3GPP 出力設定 \(出力される未加工 RTP \)](#)

Home

Presets

Input

VC1

H264

H263

Scheduling

System

Help

Streaming to RTP/3GP Server 2

<input checked="" type="checkbox"/> Enable Streaming	
Server IP Address:	<input type="text" value="192.168.2.29"/>
Push Port:	RTSP Port: <input type="text" value="0"/>
	RTP Audio: <input type="text" value="6688"/>
	RTP Video: <input type="text" value="6690"/>
Stream Name:	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Enable Authentication	
Username:	<input type="text"/>
Password:	<input type="text"/> Password will not be displayed

- 流出サーバ/エントリポイントの IP アドレスを入力して下さい。
- エンコーダとサーバの間で入力して下さい (偶数であると通常 >5000 期待される) 使用されるべきオーディオおよびビデオ ポートを。
- RTSP ポートは 0 に設定されます (セットアップ用の使用されなくて)。
- ストリーム名はリモートサーバの SDP ファイルで規定される ポートを空で、サーバを受信します流します。

注: この形式は実質螺旋形サーバおよび Akamai 未発表ストリームの方に普通使用されます。スピネーカーは C で保存される SDP ファイルを作成します: ドライブにします。サーバでこのファイルが互換性を確保するのに使用する必要があります。

SDP ファイル

- SDP (Session Description Protocol) ファイル (RFC 4566 開始する各ストリームのためのエンコーダによって、<http://tools.ietf.org/html/rfc4566>) は作成されます。
- SDP ファイルはエンコーダからサーバにストリーム 定義および接続 情報が含まれています。
- スピネーカーは RTSP 内の SDP をアナウンスしましたりメッセージをおよび/または C で保存します SDP ファイルを送信します: 手動使用方法のために (未発表接続によって) 必要に応じて駆動して下さい。
- 未発表ストリームに関してはサーバへの適切な接続を確認するために、以下は SDP で編集されなければなりません: オーディオおよびビデオ ポート数、原点 IP アドレスおよびサーバの IP アドレス。

SDP ファイルフォーマット 詳細


```

v=0
o=- 8101 8101 IN IP4 12.24.36.48
s=Inlet Render Session
i=Inlet Render session Info
c=IN IP4 192.168.2.29
t=0 0
a=x-qt-text-nam:Inlet Render Session
a=x-qt-text-inf:Inlet Render session Info
a=x-qt-text-cmt:source application:Inlet Network Renderer
a=x-qt-text-aut:
a=x-qt-text-cpy:
m=audio 20000 RTP/AVP 96
b=AS:20
a=rtpmap:96 MP4A-LATM/22050
a=fmtp:96 cpresent=0;config=400027100000
a=control:trackID=1
m=video 20002 RTP/AVP 97
b=AS:236
a=rtpmap:97 H264/90000
a=cliprect:0,0,200,360
a=fmtp:97 packetization-mode=1;profile-level-id=42800C;sprop-parameter-sets=Z0KADJZWDA3xHgKBAQAAdTDiIAczAAnofxjg7QkTcA==,aMqNSA==
a=control:trackID=2

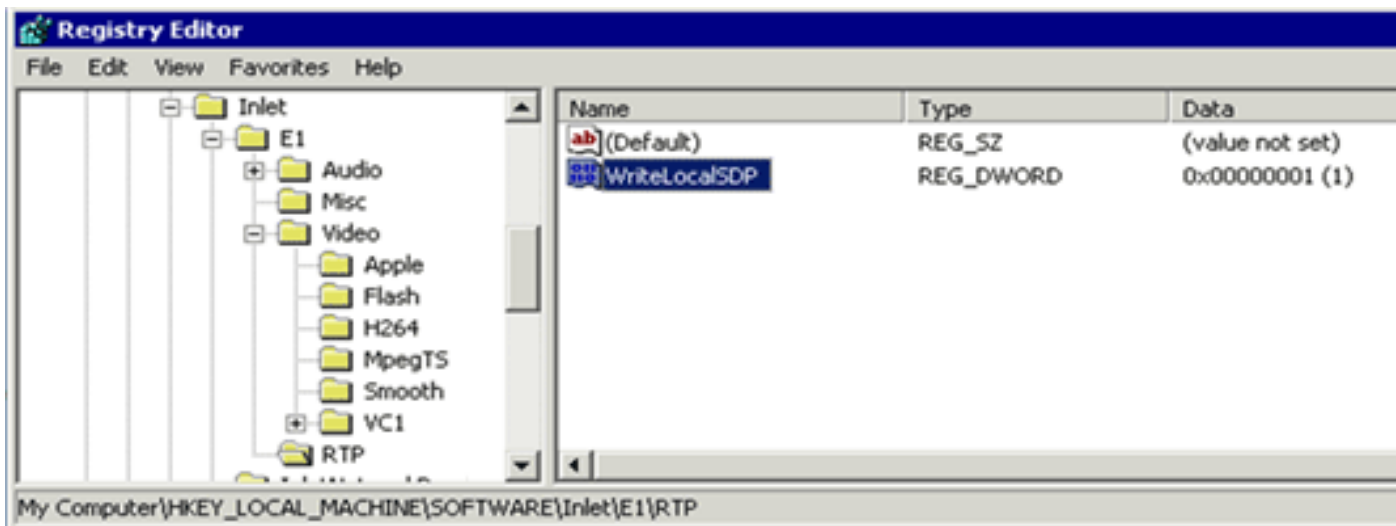
```

IP Address of Spinnaker, some servers require the correct value
 IP Address of Server
 Audio and Video Ports to be used for this connection. It is expected that the server is listening to these ports for RTP packets over UDP

[SDP ファイル パッチ-リリース 5.0.1 のみ](#)

スピネーカーが SDP ファイルを保存することを可能にする方法:

1. スピネーカーのレジストリ エディタ (regedit) を開いて下さい。
2. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Inlet\E1 の New 鍵 ネームド「RTP」を作成して下さい。
3. 新しい DWORD によって指名される WriteLocalSDP を作成して下さい。
4. 1 に WriteLocalSDP の値を設定して下さい (修正するを使用して)。
5. レジストリ エディタを終了します。



SDP ファイル パッチ (5.0.1 リリースだけのために)

3GPP ストリームが開始する時次に、SDP ファイルはエンコーダ C に書かれます: スピーネーカーで駆動して下さい。

- 出力と関連付けられるストリーム名がある場合その値は使用されます。
- 規定されるストリーム名がない場合 1 つは作成されます。形式は、次のとおりです。
h264_streamx.sdp がストリーム第 (0-3 か 0-7) であるところ。出力が h263 である場合、名前は h263_streamx.sdp です。
- 同じ名前のより古い SDP ファイルは新しい SDP ファイルと置き換えられます。

流出サーバの SDP ファイルを設定を一致するために使用する前に IP アドレスおよびポート番号を修正して下さい。

レビュー

サマリ タブに戻り、すべてのストリーム設定が正しいことを確認して下さい。

Home Presets Input VC1 H264 H263 Scheduling System Help					
Summary Alarms Encoding Statistics Metadata Output Ad Markers					
A/V Status	Source	Format	Profile	Resolution	Bit Rate
H.264 Video 1	UDP	1920x1080	BaseLine	176x100	100 kbps
H.264 Audio 1	Embedded		AAC-LC		16 kbps
H.264 Video 2	UDP	1920x1080	BaseLine	320x176	164 kbps
H.264 Audio 2	Embedded		AAC-LC		32 kbps
H.264 Video 3	UDP	1920x1080	BaseLine	360x200	192 kbps
H.264 Audio 3	Embedded		AAC-HE v1		32 kbps
H.264 Video 4	UDP	1920x1080	BaseLine	240x136	150 kbps
H.264 Audio 4	Embedded		AAC-HE v2		16 kbps

Output Status	Network URL	Alternate URL
H.264 Stream 1 RTP Push	rtsp://192.168.2.29:554/h264HDStream1.sdp	
H.264 Stream 2 RTP Push	rtsp://192.168.2.29:554/h264HDStream2.sdp	
H.264 Stream 3 RTP Push	rtsp://192.168.2.29:554/h264HDStream3.sdp	
H.264 Stream 4 RTP Push	rtsp://192.168.2.29:554/h264HDStream4.sdp	

[サーバを流すダーウィン/QuickTime](#)

QuickTime サーバ (Mac OSX によって基づくソリューション) は Apple の Web サイトから利用できます:

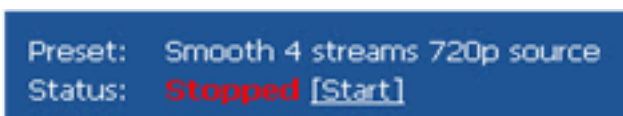
<http://www.apple.com/quicktime/streamingserver/>

上のリンクはまた異なるハードウェアプラットフォームの方にコンパイルすることができるソースコードを提供します。

さらに、ダーウィン サーバの多くのバージョンがあります異なるハードウェアプラットフォームの方にの Linux および Windows を含む Web で利用可能コンパイルされた。

[イベントを開始して下さい](#)

エンコーダを開始するために 『Start』 をクリックして下さい。



[出力 オプション- CDN への流出](#)

入口は統合された、拡張が容易なソリューションを提供するために CDN を導く世界と絶えず密接に連携します。 サービスを流す 3GPP/RTP は Akamai によって利用できます。

複数のスピネーカーの接続

- 入ロスピネーカーは複数のエンコーダ同期を行ないます。
- これはストリーム S5000 および S7100 製品が付いている 16 の異なるストリームとまで何でも出力するのに 2 つ、3 つまた更に 4 つのスピネーカーを利用することは可能性のある S6000 および S8100 製品が付いているぐらつくストリーム 32 であることを意味します。
(例については第 2 ホイルの作業の流れを参照して下さい。)
- この機能がストリーム入れ込むことの使用によって追加ビットレート、複数のカメラ アングル、または簡単な冗長性を提供するのに使用することができます。
- スピネーカーはスピネーカー 2 で評価するためにから少し変更するスピネーカー 1 の比率少しビットレート間の遷移で正確なフレームでも。
- スピネーカー マネジメントコンソールはスムーズな流出イベントのための複数のスピネーカーのセットアップを自動化できます。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)